デマンド交通実証運行 AI デマンド予約システム導入業務委託 公募型プロポーザル方式審査要項

1. 審査の対象者

本プロポーザルの審査対象となる事業者は、デマンド交通実証運行AIデマンド予約システム導入 業務委託公募型プロポーザル方式募集要項(以下「募集要項」という。)に基づき参加表明書及び提 案書類等を提出した参加者(以下「参加者」という。)に限る。

2. 審査の方法

- (1)審査は書類審査及びヒアリング審査により実施する。
- (2) 書類審査は、事務局(政策推進部総合政策課)が参加者の参加資格をデマンド交通実証運行 AI デマンド予約システム導入業務委託公募型プロポーザル方式実施要領(以下「実施要領」という。)及び募集要項に基づき審査する。
- (3) ヒアリング審査においては、志摩市が設置した「デマンド交通実証運行AIデマンド予約システム導入業務委託公募型プロポーザル方式選定委員会」(以下「委員会」という。)の委員が、参加者ごとに審査項目に対して審査点を付与する。
- (4)審査項目、審査基準及び点数等は、【別紙1】「ヒアリング審査 審査基準」のとおりとする。
- (5) 参加者が1者の場合であっても審査を実施する。

3. ヒアリング審査

- (1)【別紙1】「ヒアリング審査 審査基準」に基づきヒアリング審査を実施する。
- (2) ヒアリング審査の概要は以下のとおりとする。
 - ①参加者からの提案書類等に関する説明時間 25分以内
 - ②質疑応答時間

15分以内

- ③参加者の人数は3人以内とする。
- ④パソコン、モニター等の投影装置の使用は想定しない。
- ⑤説明用の追加資料の提示及び配布は認めない。
- ⑥企業名、配置予定担当者名等の判別又は推察ができるものを会場内へ持ち込まないこと。また、企業名、配置予定担当者名等の判別又は推察ができる言動はしないこと。
- ⑦順番については、委員会が決定する。
- (3) 次のいずれかに該当する場合は、審査対象から除外する。
 - ①ヒアリング審査に遅刻又は欠席した場合
 - ②ヒアリング審査の実施にあたり、委員長の指示に従わなかった場合
- (4) 各委員の審査項目ごとの点数について平均点を算出(小数点第2位以下切捨)し、その合計をヒアリング審査の点数とする。
- (5) 天災その他やむを得ない事由により、ヒアリング審査はオンライン会議ツールを利用して実施することがある。提案書類の投影等、その際の審査方法は別に指示する。
- (6) 天災その他やむを得ない事由により、ヒアリング審査を延期又は中止することがある。

4. 受託候補者の決定

- (1) ヒアリング審査の点数が最も高い参加者を本業務の受託候補者に決定するものとする。ただし、点数が60点以上であることを条件とする。
- (2) 点数が同点の場合は、【別紙1】「ヒアリング審査 審査基準」(審査項目4) の点数が最も高い参加者を本業務の受託候補者に決定するものとする。当該審査項目による評価点も同点の場合は、委員長の決するところとする。
- (3) 応募事業者が1者であっても審査を行い、点数が60点以上であれば、受託候補者に決定する。

【別紙1】ヒアリング審査 審査基準

評価対象内容	番号	項目	評価の観点	配点
業務体制及び 進行管理	1	実施体制	本業務の遂行のため、同種・類似業務の実績があり、 必要な専門的知見・経験を有する人員が十分に配置さ れているか。	1 5
	2	実施計画	実施計画 (スケジュール) が現実的なものであり、かつ柔軟な調整が可能なものであるか。	5
提案内容	3	事業目的への合致	本業務の目的である、既存の公共交通サービスの最大限活用、各地域の状況に応じた持続可能な地域公共交通ネットワークの構築、市民の移動に係る生活交通の利便性向上等に有効な提案であるか。	2 0
	4	システムの 利便性及び 拡張性	AI等の最新技術を活用し、利用者、運行事業者及び市のいずれにとっても効率的かつ利便性の高いシステムであるか。 また、市内各地域における持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、システムの拡張性が期待できるか。	3 0
	5	事業支援	システムの導入及び構築のみならず、デマンド交通実 証運行に係る進捗管理、地域及び交通事業者との各種 調整、利用促進、実績データの分析などを、積極的か つ効果的に支援する提案であるか。	2 0
	6	実現可能性	提案は、本業務の目的を達成するために、実現性のある内容であるか。	1 0
合 計				100

ヒアリング審査 配点基準

番号	審査項目	点数基準
4		係 数 × 6
		優れている 5点
		やや優れている 4点
	・システムの利便性及び拡張性	普通 3点
		やや劣っている 2点
		劣っている 1点
3 · 5		係 数 × 4_
		優れている 5点
	・事業目的への合致	やや優れている 4点
	事業支援	普通 3点
		やや劣っている 2点
		劣っている 1点
		係 数 ×3_
	・実施体制	優れている 5点
		やや優れている 4点
1		普 通 3点
		やや劣っている 2点
		劣っている 1点
		係 数 × 2
		<u>係 </u>
		やや優れている 4点
6	・実現可能性	普 通 3点
		やや劣っている 2点
		劣っている 1点
		 係数×1_
		<u>係 </u>
		やや優れている 4点
2	・実施計画	普 通 3点
		す 週 3点やや劣っている 2点
		劣っている 1点
		70 CA.20 T.W.